

新年のごあいさつ

将来を見据えながら

より「住みやすい」町へ



岡垣町長 門司 晋

あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から町政へのご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

近年は、激甚化する災害や公共施設の老朽化、地域活動の担い手不足など、さまざまな課題が生じています。中でも大きな課題は、今後避けられない人口減少です。これらの課題に対応していくため、これからの行政運営には、社会情勢の変化への素早い対応力が求められます。とりわけ町には、令和7年8月のこれまで経験したことのないような大雨への対応を踏まえたさらなる防災体制の強化

2025年 岡垣町は

問い合わせ 企画政策室

さらに住みやすく



なりました



JR 海老津駅 快速列車が全て停車

JR 九州のダイヤ改正に伴い、3月15日からJR 海老津駅に全ての快速列車が停車するようになりました。特に博多方面に向かう平日の午前7時台は8本の列車が停車するため、よりスムーズに通勤や通学ができます。

ベッドタウンとして発展してきた町の交通の利便性がさらに向上し、より快適な暮らしができるようになりました。



や、国民生活に影響を与えている物価高騰への対策などが求められています。このような課題に適切に対応しつつ、今後の人口減少を見据えて今やらなければならぬこと、今この町に住んでいる住民の皆さんの幸福度を高めることに取り組んでいきます。

令和7年度は、町の最上位計画である「岡垣町第6次総合計画」の中間評価の年です。それに合わせて住民等アンケート調査を実施したところ、岡垣町は「住みやすい」という回答が85%を超えました。計画策定時を大幅に上回る評価をいただき、大変うれしく思っています。地域活動をはじめ、住民の皆さまの日頃からのまちづくりへの協力に対して、改めて感謝申し上げます。また、町内全ての小・中学校の体育館に空調設備を設置する工事が完了しました。これにより、子どもたちにとって快適な教育環境が整うとともに、災害時の指定避難所としての防災機能が向上しました。

今後も「自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣」を目指したまちづくりを進めてまいりますので、住民の皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、令和8年が皆さまにとって幸多き年となりますことを心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

TOPIC 2

元気な体づくりに スイミングスクール開校



はるかスイミングスクール岡垣校が5月に開校し、専門のインストラクターによる小・中学校の水泳授業が始まりました。

専門的な指導を受けることで子どもたちの泳力向上が期待できるほか、猛暑などの天候に左右されずに安定的に授業を行えるようになりました。

また、高齢者を対象とした水中運動教室なども行われ、健康づくりやリフレッシュの場としても多くの人に親しまれています。

TOPIC 3

快適な空間広がる 体育館に空調設備を設置



子どもたちがスポーツや式典を行うだけでなく、災害時の指定避難所としても活用される小・中学校の体育館。その全てに空調設備を設置する工事が完了しました。

体育館で部活動をしている子どもたちからは、「涼しくなって運動しやすくなりました」と喜びの声が上がっていました。

より快適で安全に利用できる施設整備にこれからも取り組んでいきます。

